

評価細目の第三者評価結果 (保育所、地域型保育事業)

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

	第三者評価結果	コメント
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	パンフレットの配布・ホームページの設置・保育士体験の実施・園内への掲示等により理念・方針の周知が図られている。家庭保育室時代からの確かな実績、地域からの信頼を基盤として運営がなされている。

I-2 経営状況の把握

	第三者評価結果	コメント
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	法人による多様な事業の運営と市内保育所による連絡協議会等々からの情報の集積がなされており、各種専門家による指導と精査をもとに適切な運営に取り組んでいる。パンフレットの最初のページには「ぽかぽかネットワーク」と題された関係各所が図示されており、取り巻く環境との連携を重視していることが理解できる。
I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	人材育成・修繕等長期の展望を要する課題についても認識し、進捗を図る意向をもっている。規模や環境は変われども子どもを主体とした丁寧な保育の実践については、ぶれることのない方針が貫かれている。

I-3 事業計画の策定

	第三者評価結果	コメント
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b	法人・園の見通しとしてのビジョンを存しており、安定した運営と更なる貢献を着想している。単年度の計画・実施の継続により丁寧な運営が心がけられている。
I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a	年度の重点課題、行事、職員の処遇、施設管理等についてまとめた事業計画が策定されている。全体的な計画・年間指導計画において年齢別の保育目標を定めており、日々の保育への反映にあたっている。
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a	事業計画の配布・説明を通して職員への周知を図っている。常勤・非常勤を問わず、職員が一人丸となって子どもの健やかな成長を見守ることができるよう一体感のある運営を目指し、職員への指導に取り組んでいる。
I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	a	全体的な計画の掲示、懇談会の開催、園だよりの配布等を通して園の方針への理解が進むよう努めている。

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

	第三者評価結果	コメント
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	職員個々としては、人事考課等の仕組みを通して自己の業務の振り返りと課題の認識を深め、保育力の向上に努めている。また法人・園としては会議での話し合い・書面による標準化を通して留意事項等の徹底に取り組んでいる。
I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b	福祉だけでなく多様な業種の情報や方法を取り入れ、良い所を常に注入するよう・変化に対応するよう心がけた運営に努めている。園全体としての検証・分析、その活用と伝達方法を今後の課題として認識している。

評価対象II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

	第三者評価結果	コメント
II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
II-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	組織図・業務分掌が作成されており、職員の役割を明確にすることが意識されている。誰が欠けても園の運営が成り立たない・子ども主体の保育が実践できないことを伝え、チームとして・共同体としての意識が育つよう職員への指導に取り組んでいる。
II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	a	会計・人事・運営等は外部の専門家に依頼し、指導を受けながら適切な運営となるよう取り組んでいる。法令・指針等についての改正を理解し、目指す保育の推進と継続に努めている。
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
II-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a	管理職は役割を分担しながら、円滑な運営と事業の推進に邁進している。園内にとどまらず地域への貢献を見据えた活動がなされており、視野の広さと子どもたちへの思いにより職員を牽引している。
II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a	登降園の確認システムの導入・行事等による職員の繁忙をなくすための勤務への工夫を実施しており、業務の効率化を果たしている。リサイクルコーナーの設置など保護者へのサポートと省資源への取り組みがなされている。

Ⅱ－２ 福祉人材の確保・育成

	第三者評価結果	コメント
Ⅱ－２－（１） 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
Ⅱ－２－（１）－① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	公的機関の活用等により職員の募集に取り組んでおり、特に多数の非常勤職員の採用が実現している。新卒職員の採用についてはネットワークの活用等により更に注力していく意向をもっている。
Ⅱ－２－（１）－② 総合的な人事管理が行われている。	a	人事考課の実施により各職員の目標管理を実施しており、形式だけでなく処遇への反映にもつなげている。制度の整備・助成金の活用を通して処遇の向上にあたっている。
Ⅱ－２－（２） 職員の就業状況に配慮がなされている。		
Ⅱ－２－（２）－① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a	行事等への取り組みについては業務時間を設けるなど所定労働時間内に終了するよう配慮にあたっている。役割の明確化・チームとして意識により業務負担の偏在を取り除くよう努めている。
Ⅱ－２－（３） 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
Ⅱ－２－（３）－① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	人事考課制度に目標管理を取り入れ、職員の資質向上への指導に努めている。非常勤職員に対しても制度が設けられ、モチベーションと目標の管理がなされている。また内部研修を通して職員の視野を広げられるよう知識の研鑽を支援している。
Ⅱ－２－（３）－② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	関係団体主催の外部研修への参加、園内研修の開催、救急救命講習など職員啓発の機会を設けている。事業への取り組み・職員配置などの課題が整理されたことから拡充の予定をしている。
Ⅱ－２－（３）－③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	新規事業の開始等により思い描く研修実施が実現していないことを認識しており、今年度より意欲的な取り組みを計画している。接遇など基本事項と共に療育等専門的支援についても職員の研鑽を進めている。
Ⅱ－２－（４） 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
Ⅱ－２－（４）－① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a	担当者を中心に実習マニュアルに基づき、指導を進めている。ゆとりをもって研修に臨めるよう記録や振り返りの時間を確保するなど配慮に努めており、有意義な実習となるよう取り組んでいる。

II-3 運営の透明性の確保

	第三者評価結果	コメント
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b	ホームページには理念・沿革とともに定款・役員名簿等が記されている。また3年度に渡る行動計画が示されており、職員の働きやすさへの改善プランを示している。
II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	公正かつ適正な運営となるよう規程の設定・専門家による指導・経理担当職員の専従等環境の整備がなされている。

II-4 地域との交流、地域貢献

	第三者評価結果	コメント
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
II-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	子育て支援センター：ひなたぼっこを併設しており、協同した取り組みにより地域への貢献を果たしている。園庭開放等を通して地域に開かれた活動を展開しており、関係機関と連携しながら子育て支援の拠点としての役割を果たしている。
II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	園として様々な協力に対しても受け入れ歓迎の意思を表明している。2歳児までの利用であることを踏まえ、適した受け入れとなるよう模索・実行している。
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
II-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	情報誌やポスターの掲示を通して社会資源活用を利用者に周知している。行政をはじめとする関係機関に対する協働の意識は、法人として障害者支援や地域支援など多様な事業活動を行っている理念に基づいていることが理解できる。
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
II-4-(3)-① 福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。	a	障害者の職業訓練事業の実施、学識経験者への資料・事例提供、大学での講演など園ができる資源の還元が積極的になされている。
II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズに基づく公益的な事業・活動が行われている。	a	子育て支援センター、就労支援事業所、一時保育など地域の福祉ニーズに基づき、多様な活動がなされている。未就学時期の難病児子育て応援プロジェクトは企業の助成事業として選定され3年度に渡り実施がなされるなど本法人・園の「連携と専門機能の発揮」する先駆的な取り組みとなっている。

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果	コメント
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	法人内拠点代表者、各ルームなど機能別に会議が定例で開催されており、情報の集約と共通理解に努めている。特に新入職員へのオリエンテーションでは、家庭保育室時代から大事にしている「子どものいのちの大切さ」と「家庭的保育の実践」について理解が深まるよう指導にあたっている。
Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a	規程の整備、入職時の誓約を通してプライバシーの保護の徹底に努めている。関係機関との連携を図り、子ども・保護者への支援にあたっている。
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	問い合わせ・見学には随時対応しており、保育時間・持ち物等への質問に応じながら園を理解してもらえるよう努めている。特に園における子ども同士のトラブルへの対応については丁寧に説明し、理解を求めている。
Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	a	新入園にあたっては保護者に対して入園説明会を開き、パンフレットを使用しながら持参物、登降園システムの利用方法等を明示し、安心して利用してもらえるよう説明にあたっている。
Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a	2歳児までの利用であることから卒園後の相談については、保護者に寄り添いながら取り組んでいる。個別の事案にあわせて行政等と協力し、進めている。
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a	保育士体験後のアンケート、退園後の集まる機会でのアンケート、懇談会を通して保護者の意向の確認にあたっている。日々の保育を通してコミュニケーションが図られていることが本評価に伴う保護者アンケート結果から理解することができる。
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	苦情連絡・担当等解決体制については、整備・掲示・周知している。また利用者からだけでなく、近隣の方々からの意見を拝聴し、地域との共生に努めている。
Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a	保護者が相談しやすいよう声をかけるなど配慮に努めている。担当職員だけでなく、園全体で問題を把握できるよう取り組んでいる。
Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	夕刻以降勤務する職員に対しては相談への対応・話し方などを指導し、保護者への相談対応の拡充に努めている。傾聴と働く保護者に寄り添えるよう園として体制整備に取り組んでいる。

Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	ヒヤリハット報告書の共有・室内外の点検・ハード面の改修などを通して事故防止策を講じており、特に食物アレルギーを持つ子どもへの対応については細心の注意を払うよう体制の整備にあたっている。
Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	新型コロナウイルスについては、情報を収集し、対応マニュアルを作成するなど対応に努めている。看護師を中心に消毒等の対応をし、感染防止に対する環境整備に取り組んでいる。
Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	火災・地震・不審者対応等の想定のもと毎月訓練を実施している。台風等による災害についてもマニュアルを整備し、安全への配慮にあたっている。

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。		
Ⅲ-2-(1)-① 提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a	時間帯別の業務・留意事項・保健・衛生・栄養・緊急時帯言おう等の標準化を図ったマニュアルが策定されている。
Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	各種マニュアルは毎年度見直しを重ねており、現在の保育状況に見合う内容への変更や業務改善につなげている。これまで積み上げてきた方法を見つめ直し、更なる向上を目指している。
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画を適切に策定している。	a	理念に基づき全体的な計画・年間指導計画の策定にあたっている。個別のニーズをとらえた月間指導計画に本園の保育の特長が表れており、配慮事項が詳細に定められている。偏りのないような多角的な視点を持ち、子ども一人ひとりを見る心がけられている。
Ⅲ-2-(2)-② 定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a	月間指導計画については特に月ごとの流れ・子ども一人ひとりの発達について繋がりを意識して策定するよう指導にあたっている。チーム内で声をかけあい、各自の気づきを反映できるよう管理職が指導に努めている。
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	保育とのバランスを考慮し、効率的に記録業務が行われるよう配慮に努めている。時間帯により職員の交替が行われることから申し送り事項については書面と口頭の双方により漏れのないよう体制が整備されている。
Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a	子ども・保護者に関する情報は、鍵付きの書庫にて保管している。適切な取り扱いについて誓約を求めるなど職員への指導と留意にあたっている。

評価対象Ⅳ 内容評価基準

A-1 保育内容

	第三者評価結果	コメント
A-1-(1) 養護と教育の一体的展開		
A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育過程を編成している。	a	低年齢児童は、選択できない立場であることからいかに育ちの環境を整えていくかということ恒久のテーマとして掲げており、それらの全体的な計画への反映が意識されている。ポリシーとテーマについては園内に掲示し、保護者・来園者への理解が深まるよう努めている。
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と養育の一体的展開		
A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地良く過ごすことのできる環境を整備している。	a	床暖房の設置、サンルームによる雨天時のスペースなど子どもたちが遊び・生活する場としての環境を整えている。また法人としての障害者支援、園としての障害者の就労受け入れなどを通じた様々な人々との交流は子どもたちの成長や情操にとって得がたい経験ができる環境といえる。
A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	家庭的な雰囲気の中で、健やかに子どもたちが成長できるよう職員への指導・管理に努めている。自己評価・ルーム内の会議をもって職員・チームの振り返りができるよう機会を創設している。
A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身に付けることができる環境の整備、援助を行っている。	a	トイレトレーニングをはじめとする基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもたち一人ひとりの発達と成長を考慮すること、保護者との連携を図ることを意識して取り組んでいる。日々の丁寧な関わりの中で成長の基礎作りができるよう努めている。
A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	子どもたち一人ひとりが示す興味や関心の違いを見逃すことのないよう・活動に際して無理強いをしない保育の実践にあっている。また2歳児には英語の歌遊びを通して成長を支援するETMを導入するなど集団での活動を通して表現力や創造力を養うプログラムがなされており、活動における集団と個のバランスへの配慮に努めている。
A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	睡眠・心身の成長・食事に対して具体的なイメージと目標をもって保育がなされている。また各月齢での課題を分断することなく次期につなげていくことが意識されている。
A-1-(2)-⑥ 3歳児未満児（1・2歳児）の保育において養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	生活の中で自身を表現できる取り組みに注力がなされており、製作活動・英語など多様な取り組みがなされている。また職員だけでなく他の子どもとの関わりや経験の中で考える・判断する力を養うことが心がけられている。
A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	d	「評価外」
A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	現在配慮を必要とする子どもの在籍はないものの、過去の受け入れの経験・知識を活かした体制の整備・準備がなされている。医療機関・療育機関との連携をもっており、巡回指導等を通して行政と協調した取り組みにも努めている。
A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	保育時間が長時間にわたる場合、夕方の時間帯には職員配置を手厚くし、水分補給等に十分配慮するよう努めている。また子どもの疲れや眠気などに考慮し、気持ちを止めながら対応を図っている。

A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	d	「評価外」
A-1-(3) 健康管理		
A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	看護師を中心とした健康管理体制が整備されており、健康状態と発達状況を園全体で把握するよう取り組んでいる。また年齢に応じたチェックの実施と記録の確認により安全な睡眠環境の確保にあっている。
A-1-(3)-② 健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。	a	定期で健康診断・歯科検診を実施し、子どもたち一人ひとりの「健康の記録」におさめられている。保護者へも記録を周知・確認してもらい、家庭と連携しながら健康と発達を見守っている。
A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもに対し、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	食物アレルギーをもつ子どもに対しては、入園時には主治医の所見をもとに管理栄養士と保護者による確認をし、経過観察をしながら対応を図っている。配膳等に配慮をし、安全な食事提供にあっている。
A-1-(4) 食事		
A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	楽しい食事を意識し、会話や席の配置の配慮に努めている。食べやすさ・栄養を工夫するとともに食事マナーも覚えていけるよう取り組んでいる。
A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a	野菜の栽培、皮むき、おやつの調理等々を通して食への関心をもてるよう取り組んでいる。保護者には献立や園だよりを配布し、園の食育活動を紹介している。

A-2 子育て支援

	第三者評価結果	コメント
A-2-(1) 家庭との緊密な連携		
A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	連絡帳を通して園と家庭での様子を伝え合い、情報の共有を図っている。連絡帳に書き切れない事項については口頭で補足するなど丁寧な伝達に努めている。また保護者会についてもゲームを取り入れるなどリラックスして臨めるよう工夫を図っている。
A-2-(2) 保護者等の支援		
A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	子どもたちの園での暮らしについて全責任を負うことを表明しており、保護者が安心して預ける・働くことができるよう取り組んでいる。緊急時の連絡先についても配慮するなど柔軟な対応に努めている。
A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a	毎朝の視診、看護職の見守りなど発見・予防への対応にあっている。非常勤職員も含めた全職員に対して知識と見識が浸透するよう今後も研修等での研鑽を継続していく意向をもっている。

A-3 保育の質の向上

	第三者評価結果	コメント
A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）		
A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a	人事考課に伴う目標管理を中心に業務の振り返りにあっている。今後はコミュニケーションの更なる向上により相互に高め合える組織としていくことを目標としている。